

花水木だより

第 83 号 平成 31 年 2 月
千種区鯉城会会報
発行／花水木鯉城会



〈 花水木鯉城会の輪を広げよう 〉

目 次

表 紙	1
目 次	2
新年を迎えて	3
花水木鯨城会新年懇親会	4～5
33期生 第2回地域ミーティング	6
第17回鯨城会グラウンドゴルフ交歓会	7
社会奉仕だより	
ボランティア活動実績 / ボランティア活動予定	8
第7回鯨城・堀川クリーンキャンペーン	
/ 鶴舞公園清掃キャンペーン	9
行事報告	
第15回趣味の作品展	10
趣味の作品展写真集	11～14
趣味の作品展 出品目録	15～16
行事委員会だより 信州・安曇野と松本城 バスツアー	17
鯨城会ホームページ変更のお知らせ / 新春講演会	18
表紙の言葉 / お知らせ / 編集後記	19
2019年度の行事予定（裏表紙）	20



新年を迎えて

花水木鯉城会役員のプロフィールを紹介します。

- ① 日頃の生活モットー
- ② 今年の抱負・目標
- ③ 好きなもの、趣味
- ④ お勧めしたい健康法

会長 松川正信 (29期 地域B)



- ① 後期高齢者の仲間入りしました“万歳”。今年も自然体でゆっくり生きてゆきます。
- ② お酒と健康とお医者さんと上手くお付き合いが続きますように。花水木鯉城会の会員、ご家族の益々のご繁栄をお祈りします。

副会長 稲垣博史 (29期 環境)



- ① ポチポチと・・・・・・・・。
- ② 何かやりたいことを探す。後一年は勤める。
- ③ ゴルフと読書ですが、目と膝の調子が悪く困ります。
- ④ 毎日朝のテレビ体操で1日のリズムを作る。

副会長・総務委員長 二宮敏夫 (30期 福祉)



- ① 無い知恵を絞って色々思いを巡らせて“考動”する。
- ② 今年も大過なく過ごしたい。まずは健康第一。
- ③ 肉類は嫌い。野菜・魚類は大好き。日曜大工と料理。
- ④ サイクリング。友人とノミネーション。

行事委員長 福島好明 (30期 文化A)



- ① 日々是好日
- ② 芸事に挑戦
- ③ 散歩、俳句
- ④ ウォーキング、太極拳



広報委員長 大村悦郎 (30期 生活A)



- ① 置かれた場所で力を尽くす。
- ② 宿泊旅行も今のうち。今年こそ家族旅行の期待に応えたい。
- ③ 時代小説、ゴルフ、野菜作り
- ④ 毎日のラジオ体操とお酒控えめ。そして小鳥のごとく大盛り野菜。

社会奉仕委員長 脇所 耐

(29期 生活B)



- ① 80歳越えの終活を迎え、身の整理と心身の鍛え。
- ② 「日々是好日」1日1日を大切に悔いなく過ごす。
- ③ 花の観賞、スポーツの話題が好き。絵画の鑑賞、絵手紙。
- ④ 日々歩くこと。階段で足腰を鍛える。

会計委員長 清水勝昭 (30期 地域B)



- ① 成せば成る、成さねば成らぬ何事も。成らぬは人の成さぬなりけり。
- ② 前屈で、手の指が床に着くように。
- ③ 楊名時 太極拳
- ④ 太極拳



総務委員・鯉城会担当 伊藤陽子

(29期 陶芸)



平成最後の新年。新元号をあれこれ想像しながら楽しみにしています。今年も花水木鯉城会に携わりながら父の教訓「熟慮断行」「和顔愛語」「全てに感謝」そして良妻賢母を貫いてまいります。

花水木鯨城会 新年懇親会が開催されました!!

総務委員会



花水木鯨城会恒例の新年懇親会が1月11日(金)「木曾路瓦町店」で11期生から31期生までの72名が出席して、盛大で華やかに開催されました。

松川会長のご挨拶に続き、前会長の片山様の乾杯で開始となりました。



今回は、生田流琴演奏家師範の浅井りえ様と伊澤みほ様による琴の演奏を披露していただきました。新春のお祝いに相応しく「新春の調べ」など4曲が演奏された後、花水木鯨城会の定番でもあります「故郷(ふるさと)」が演奏されました。

会場には琴の音が流れ、久しぶりに格調ある音色にしばし聞き入りました。



今年も各地域会から舞台に上がり、合唱あり、詩の朗読あり、炭坑節の踊りありの披露合戦がありました。事前の準備万端の地域会もあれば、急遽打合せをする地域会もありましたが、それはそれで会場一杯の歓声と拍手で湧きあがりました。

途中31期生と30期生による学生歌の斉唱を挟み、お楽しみの「お年玉抽選会」へと移りました。喉に自信のある会員の方からのカラオケ自慢もあり、最後に全員で「故郷(ふるさと)」を合唱して会員相互の親睦をさらに深めることが出来ました。

稲垣副会長による閉会挨拶と三本締めでお開きとなりました。

ご参加いただきました会員の皆様、開催の準備と当日の運営にご尽力いただいた運営委員の皆様、ご協力有難うございました。



30期31期 学生歌斉唱



お年玉抽選会

地域会有志のアトラクション



千種地域—北原白秋詩の朗読—



振甫地域—“青春時代”替え歌—



若水地域—“炭坑節”と踊り—



東星地域—正月唱歌ほか—



千種台地域—“青い山脈”—



今池地域—“港町ブルース”替え歌—

カラオケタイム



城山地域—“上を向いて歩こう”—



“故郷（ふるさと）”の全員斉唱

33期生 第2回地域ミーティング（平成30年11月29日）

総務委員会



当年入学された千種区在住の33期生を対象に第2回目の地域ミーティングが学園で開催されました。当日は学園での授業もクラブ活動もお休みとなっているため、対象50名のうち12名の参加で、人数的には少し期待外れとなりました。

学生の皆さんは授業やクラブ活動にも慣れ、体育祭や文化祭の2大イベントも終わり、ほっとしている様子がうかがえました。

5月に開催した、第1回地域ミーティングのアンケートに「鯉城会はボランティア活動が中心ですか」とか「同好会についてももう少し詳しく聞きたかった」などの意見が寄せられましたので、今回は同好会活動についての意見交換を中心に進めることにしました。

松川会長、楳木(ならき)学務主任、千種区社協の加納スタッフの挨拶に続いて花水木鯉城会の14同好会の各代表の方々から同好会活動の紹介を行っていただきました。

さすが、日頃から挨拶に慣れている方ばかりで、3分間スピーチの中に現状報告や楽しさについてユーモアを混ぜながら説明していただきました。

参加者が少なかったおかげで、学生の皆さんからクラブ活動に関する感想を個々に聞くことができました。「クラブ活動はあまり楽しくない」とか「楽しくてたまらない」などの本音を伺うことが出来ました。中には「学生でも同好会に入会できますか？」との質問もいただき、「もちろんOKです。現に入会されている方がおられます」との回答で、会場で入会していただいた学生がおられました。

参加人員が少なかったけれども、逆に学生の皆さんと個別に意見交換が出来て有意義なミーティングだったと思います。



最後に学園からのアンケートと花水木鯉城会からの個人票を記入して無事にお開きとなりました。ご協力いただいた同好会の代表の方々を始めご出席の皆さんに感謝いたします。



第17回 鯉城会グラウンドゴルフ交歓会

木下 幸紀 (25期)



平成30年10月23日(火)、庄内緑地公園陸上競技場で、鯉城会主催の「第17回鯉城会グラウンドゴルフ交歓会」が開催されました。今回は従来の個人戦に加えて、区対抗戦や各区の会長によるニアピン戦の新しい企画が盛り込まれました。

千種区の戦績を紹介すると、第1の区対抗戦は各区の個人戦成績上位3名の合計によるものであり、残念ながら千種区は3位表彰までに入ることが出来ませんでした。第2の個人戦は4ゾーン別に上位5名の合計20名が表彰されますが、千種区は4位入賞1名にとどまりました。なお、ホールインワンは7名の方々が達成されております。第3のニアピン戦は松川会長の代理で出場した稲垣副会長が見事に優勝を勝ち取り、唯一の誇らしい戦績となりました。

今回の千種区の参加者は18名で、これは参加者の多い区に位置づけられます。グラウンドゴルフ交歓会の参加資格は「鯉城会の会員」であればよく、花水木グラウンドゴルフ同好会の会員である必要はありません。出場者18名のうち同好会の会員は13名、会員外が5名で、例年4~5名の会員外の方が参加されています。

町内会や老人会などでグラウンドゴルフを楽しんでいる方も多数おられると思います。次回の交歓会に参加されてはいかがでしょうか。



交歓会終了後は迎いのバスで主税町の太閤本店に場所を移し、昼食をいただきました。その後は栄に送ってもらい、解散となりましたが、数名の方々とともに、この日から始まった愛知芸術文化センターでの作品展にも顔を出し、楽しい一日を共有することが出来ました。

社会奉仕だより

社会奉仕委員会

多くみなさんのご支援有難うございました。
引き続き変わらぬご支援をお願い申し上げます。



ボランティア活動実績 [平成30年10月～12月]

項目		4月～9月	10月	11月	12月	10月～12月 合計
デイサービス支援(その他ボラ含)		370	58	52	55	165
コーヒーサロンの運営		134	19	20	21	60
茶屋ヶ坂第3公園清掃		65	10	8	10	28
鹿子公園清掃		48	4	6	11	21
児童館支援	ゆらゆら鯉のぼり作ろう	8				
	夏休み工作	7				
	こどものまち	7				
	千種区民まつり	降雨中止				
	ハロウィン		4			4
	思い出アルバム作ろう		3			3
	冬の工作				7	7
市一斉クリーンキャンペーン		26				
こころの絆創膏キャンペーン		9				
千種区民まつり		降雨中止				
鶴舞公園清掃キャンペーン			19			19
堀川クリーンキャンペーン				23		23
キラキラサンタ&トナカイボランティア				3	33	36
図書館ボランティア		22	3	5	5	13
珈琲ボランティアあじさい				3	4	7
合計		696	120	120	146	386

平成31年1月～3月ボランティア活動予定

デイサービス 介護活動	環境美化・清掃	千種児童館 社会福祉協議会	その他
<u>デイサービス支援</u> 1月～3月の月曜日 ～金曜日 (社会福祉協議会)	<u>茶屋ヶ坂第3公園清掃</u> 1月～3月の第1日曜日 <u>鹿子公園清掃</u> 1月～3月の第3日曜日	<u>お正月あそび</u> 1月5日(土) <u>昔あそび</u> 大和小学校 1月15日(火) <u>児童館まつり</u> 3月3日(日)	<u>福祉街頭募金活動</u> 2月23日(土) <u>こころの絆創膏キャンペーン</u> 3月4日(月) <u>ウィメンズマラソン</u> 3月10日(日) <u>図書館ボランティア活動</u> 1月～3月

第7回 鯨城・堀川クリーンキャンペーン(清掃大作戦)

鯨城学園、鯨城会、学生会、「鯨城・堀川と生活を考える会」が一丸となって、毎年恒例の「堀川クリーンキャンペーン(清掃大作戦)」が平成30年11月10日に開催されました。

当年は、前年の参加者(14名)を上回る23名の参加者でした。(総参加者714名)



集合場所(みのりの広場)と清掃場所は前年同様で、「岩井橋」から「松重橋」の約700mを堀川の左岸・右岸に別れ清掃しました。回収したゴミは、前年と異なり大物の不燃物は見当たらず、空き缶・空ビンが殆どで2袋、可燃物は当年も相変わらずタバコの吸い殻が圧倒的に多く、他にペットボトルや布切れ等が回収され3袋と前年と変らずの結果でした。

全員事故もなく写真撮影の後、午前11時過ぎ終了致しました。その後有志の皆さんで昼食をとり、しばし談笑し解散しました。

ご参加の皆さん当日は本当にお疲れ様でした。ご協力いただき有難うございました。
(記 社会奉仕委員長 脇所 耐)

鶴舞公園清掃キャンペーン (平成30年10月6日)

前日の降水率予報では、台風25号の来襲により50%以上とあり、また、前年の二の舞か(前年は予備日も含め降雨で中止)と心配しましたが、青空がのぞく天気で「よし!」とすかさず心の中で叫んでいました。

鯨城会からは19名参加、鯨城学園からは16名(32期生12名/33期生4名)が集合し清掃を開始しました。

集荷したゴミの大半は道路に落ちている「落ち葉」や「空き缶・ペットボトル」でした。

降雨が激しくなり始めたため、閉会式を午前10時45分に早めて早々に解散しました。その後17名の有志による(学生3名参加)「浩養園」でランチ会を開催し、しばし談笑し解散しました。



休曜日と降雨の中、ご活動いただき誠に有難うございました。本当にお疲れ様でした。
(記 社会奉仕委員長 脇所 耐)

行事報告

第 15 回趣味の作品展開催

行事委員会

当年の作品展は、平成 30 年 10 月 23 日から 28 日まで、いつもの愛知芸術文化センターの地下から 12 階のアートスペースに場所を移し行われた。窓の外から空中庭園の緑の光が惜しみなく注ぎ、80 余点の展示作品を一層活き活きと鼓舞してくれている様であった。

作品が並ぶギャラリーを眺めるに、会員の皆さんの技量の高さ、情熱、探求心がほとぼしるのを肌感じます。

当年も社会福祉協議会（デイサービス）の斬新な作品やなでしこ会の皆さまのたくさんの折紙は、観覧された皆さんやそのご家族に、心届くお土産として作品展を幾重にも楽しい催しにして下さいました。他区の鯉城会の作品展には見られず、永年のボランティア活動等の中で育まれて来た賜物として、感謝をすると共に、大いに誇りとするべきものと思います。

この作品展で見られた光景。作品に感動するは言うに及ばず、作者と観覧者の再会、交流。観覧者同士の出会いと励まし。その様な「場」としての作品展が当年も出来たことを何よりも嬉しく思います。



趣味の作品展写真集

絵画



仔犬
小坂井康夫



改元
松井淳子



はず
鵜飼 孝



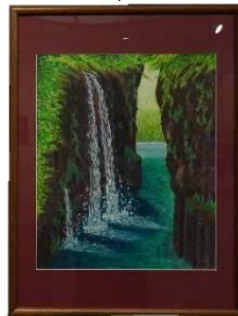
夕暮れ
齋木せつ子



廃車
小澤一隆



散歩道
水野茂樹



高千穂峡
山田則生



富士
新川光雄



熱田神宮
新川光雄



白馬山麓
山田雄一



バッキンガム宮殿北口
山田雄一



オウム貝とランプ
近藤雅江



びわ
近藤雅江



水彩画
佐藤佑子



風を待つ
田島弘康



タイ王宮女神
山田秋男



アユタヤ王宮遺跡
山田秋男



名古屋城展望景観
山田秋男



サイロと水田
竹倉 護

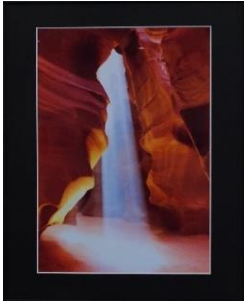


さつまいも
堀 照雄



大人の夏休み
高橋満里

写真



アンテロープの光
川村 博



時の人
渡邊武通



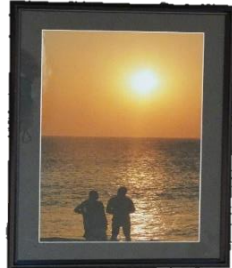
アルベロベッロの観光
(イタリア)
岩田秋子



エーゲ海を代表するリゾート地
サントリーニ島 (ギリシャ)
岩田秋子



玉山之日出
加藤 勇



南印度之入日
加藤 勇



朝稽古
塚原義政



雨上がり
相場彰史



山里の実り
石原繁子



オレンジ色に魅せられて
渡邊孝子



春の駿河湾
山本 一



ラサの象徴「ポタラ宮」
久連石一彦



巡礼者
久連石一彦



桜並木とレッドカー
渡邊泰興



雲
大畠啓三



光と影
片山敦久



荒子川公園アジサイ
山中豊二



いのち
長坂幸広



ビールが美味しい
西脇弘善



下北寒立馬の初夏
高木 収

陶 芸



窯垣の小径 (瀬戸)
特別会員 吉田 誠



油壺の小径
特別会員 吉田 誠



鉢(三島手) 2点
吉橋信雄



皿(三島手)
吉橋信雄



酒器
池田寿治



水指 2点
紫波正國



大井戸茶碗
中根克弐



油滴天目茶碗
中根克弐



黒彩角花生
山田秋男



皿
佐藤博高



花瓶
佐藤博高



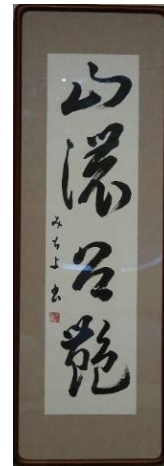
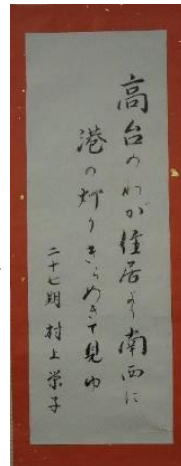
香炉
伏屋信秀

書 道



老樹入新秋
瀬川一彌

港の灯り
村上栄子

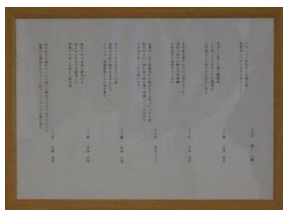


山濃谷艶
栗田みちよ



酔裏楽天真
久米昌孝

絵手紙・俳句短歌・手芸品等



俳句短歌/
花水木七人衆
尾崎達男 他 6名



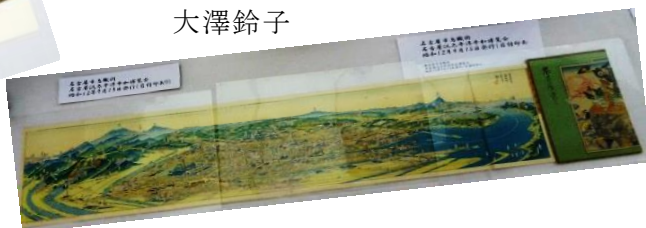
木彫/壁かけ
岩山豊子



木彫/手鏡
岩山豊子

絵巻/名古屋市古地図他
大澤鈴子

絵葉書/
名古屋城新御殿未公開換絵葉書
大澤鈴子



手芸品/大和路の秋
鈴木久子



写真俳句集
彦坂茂光

短冊俳句/夕焼け
伊藤洋子



木目込人形
能・松風
鈴木須美子



木目込人形/干支・亥
鈴木須美子



絵手紙/果物と花
脇所 耐



絵手紙/
夏の風物(ワチ)
脇所 耐



絵手紙/花菖蒲
脇所 耐



折紙/
折り紙とペーパークラフト
山田勝祥



絵手紙/春の花々
脇所 耐



木彫/花台
伊藤陽子



絵手紙/夏の絵手紙
古田 昇



絵手紙/ 郷土玩具
古田 昇



押し花/庭の千草
田中光子

ジオラマ模型/
大きなプレゼント
樫澤一也



ジオラマ模型/
ハロウィン
樫澤一也



特別参加



Quilling (クイリング)
海の生き物
千種区社会福祉協議会
(千種在宅サービスセンター)



折紙細工/ピエロと夢
千種区社会福祉協議会
(なでしこ会)



花水木鯉城会 第15回 趣味の作品展 出品目録 (I)

■平成30年10月23日(火)～28日(日)

■愛知県芸術文化センター 12階アートスペースH

番号	分類	期	学科	氏名	題名
1	絵画 21点	17	福祉	小坂井康夫	仔犬
2		18	文化A	松井 淳子	改元
3		19	美術	鶴飼 孝	はす
4		19	園芸	齊木せつ子	夕暮れ
5		20	美術	小澤 一隆	廃車
6		20	文化A	水野 茂樹	散歩道
7		20	美術	山田 則生	高千穂峡
8		22	陶芸	新川 光雄	富士
9		22	陶芸	新川 光雄	熱田神宮
10		22	美術	山田 雄一	白馬山麓
11		22	美術	山田 雄一	バッキンガム宮殿北口
12		24	美術	近藤 雅江	オウム貝とランプ
13		24	美術	近藤 雅江	びわ
14		25	生活A	佐藤 佑子	水彩画
15		25	陶芸	田島 弘康	風を待つ
16		26	陶芸	山田 秋男	タイ王宮女神
17		26	陶芸	山田 秋男	アユタヤ王宮遺跡
18		26	陶芸	山田 秋男	名古屋城展望景観
19		28	美術	竹倉 護	サイロと水田
20		28	園芸	堀 照雄	さつまいも
21		30	環境	高橋 満里	大人の夏休み
22	写真 22点	18	国際	川村 博	アンテロープの光
23		19	美術	渡邊 武通	時の人
24		20	文化B	岩田 秋子	アルペロベツロの観光(イタリア)
25		20	文化B	岩田 秋子	エーゲ海を代表するリゾート地サントリーニ島(ギリシャ)
26		21	福祉	加藤 勇	玉山之日出
27		21	福祉	加藤 勇	南印度之入日
28		21	生活A	塚原 義政	朝稽古
29		22	文化A	相場 彰史	雨上がり
30		22	健康	石原 繁子	山里の実り
31		22	生活A	渡邊 孝子	オレンジ色に魅せられて
32		23	生活A	山本 一	春の駿河湾
33		24	地域	久連石一彦	ラサの象徴「ポタラ宮」
34		24	地域	久連石一彦	巡礼者
35		25	国際	渡邊 泰興	桜並木とレッドカー
36		26	地域	大畠 啓三	雲
37		27	園芸	片山 敦久	光と影
38		27	文化A	山中 豊二	荒子川公園アジサイ
39		28	美術	長坂 幸広	いのち
40		29	地域B	西脇 弘善	ビールが美味しい
41		30	地域B	高木 収	下北寒立馬の初夏

花水木鯉城会 第15回 趣味の作品展 出品目録 (Ⅱ)



番号	分類	期	学科	氏名	題名		
42	写真	特別会員		吉田 誠	窯垣の小径 (瀬戸)		
43		特別会員		吉田 誠	油壺の小径		
44	陶芸 10点	18	環境	吉橋 信雄	鉢 (三島手) 2点		
45		18	環境	吉橋 信雄	皿 (三島手)		
46		22	陶芸	池田 寿治	酒器		
47		22	陶芸	紫波 正國	水指 2点		
48		23	園芸	中根 克弑	大井戸茶碗		
49		23	園芸	中根 克弑	油滴天目茶碗		
50		26	陶芸	山田 秋男	黒彩角花生		
51		27	地域	佐藤 博高	皿		
52		27	地域	佐藤 博高	花瓶		
53		27	陶芸	伏屋 信秀	香炉		
54	書道 4点	20	地域	瀬川 一彌	老樹入新秋		
55		22	地域	久米 昌孝	酔裏楽天真 (酔って天真爛漫の気分を楽しむ)		
56		27	文化A	村上 栄子	港の灯り		
57		28	生活A	栗田みちよ	山濃谷艶		
58	絵手紙 俳句短歌 手芸品等 23点	22	国際	鈴木 久子	手芸品	大和路の秋	
59		23	文化B	岩山 豊子	木彫	壁かけ	
60		23	文化B	岩山 豊子	木彫	手鏡	
61		26	文化A	尾崎達男他	俳句短歌	花水木 七人衆	
62		27	園芸	大澤 鈴子	絵葉書	名古屋城新御殿未公開襖絵葉書	
63		27	園芸	大澤 鈴子	絵巻	名古屋市古地図他	
64		27	文化A	彦坂 茂光	写真俳句	写真俳句集	
65		28	生活A	伊藤 洋子	短冊俳句	夕焼け	
66		28	文化A	鈴木須美子	木目込人形	能・松風	
67		28	文化A	鈴木須美子	木目込人形	干支・亥	
68		29	生活B	脇所 耐	絵手紙	果物と花	
69		29	生活B	脇所 耐	絵手紙	夏の風物 (ウチワ)	
70		29	生活B	脇所 耐	絵手紙	春の花々	
71		29	生活B	脇所 耐	絵手紙	花菖蒲	
72		29	陶芸	伊藤 陽子	木彫	花台	
73		30	福祉	山田 勝祥	折紙	折り紙とペーパークラフト	
74		31	地域B	古田 昇	絵手紙	夏の絵手紙	
75		31	地域B	古田 昇	絵手紙	郷土玩具	
76		31	地域B	田中 光子	押し花	庭の千草	
77		31	生活B	樫澤 一也	シ・オラマ模型	ハロウィン	
78		31	生活B	樫澤 一也	シ・オラマ模型	大きなプレゼント	
79			千種区社会福祉協議会 (千種在宅サービスセンター)		Quilling (クイリング)	海の生き物	
80			千種区社会福祉協議会 (なでしこ会)		折紙細工	ピエロと夢	

行事委員会だより

信州・安曇野と松本城 バスツアー

行事委員会

平成 30 年 11 月 8 日の木曜日、風もなく暖かい絶好の行楽日和となった秋空のもと、爽やか信州を目指して、今池を定刻通りの午前 8 時に出発する。春岡 IC から都市高速に乗る予定を変更し、遅刻者を拾う(?) ため一般道の覚王山・東山通経由で東名名古屋インターへ。遅れもほんのチョッピリで、結果的に高速料金の節約となった。なにせ今回は参加者 32 名と少なく採算ラインには達せず行事委員会としては棚からぼた餅というべきか。また人数の少なさゆえ、缶ビール(第 3 のビール)が十分に行き渡った半面、「ジュース」という声もあり飲まない人に配慮が足りなかったと反省する。恵那峡 SA と小黒川 PA でのトイレ休憩をはさみ、安曇野 IC (旧 豊科 IC) で長野自動車道を降りて安曇野スイス村で昼食をとる。スイスらしさは全く感じられなかったが、大王わさび農園の水の清さには感心した。三々五々わさび農園を散策する人、わさびソフトを買い求めた人、さまざまだったがそれなりに信州の爽やかさを満喫できたのではないかな。



国宝の松本城に登楼する。やっぱり木造はいいなあ。名古屋城の木造化はかなり先の話だし、完成した頃には足腰が弱っていることも考えられるので今のうちにとの思いで、いくつもの急な階段を這いつくばりながら、最上階(天守 6 階)へと登る。現存する日本最古の五重天守とのことで、風格を感ずるいでたちだ。

帰りのバス車中は例のごとくビンゴゲームで楽しむ。今回は、このビンゴの他に脇所氏の景品付きクイズで盛り上がったことが特筆すべきこと。脇所さんありがとう。



最後に難問だったクイズ二つを記する。

「俺ん家も
長期政権 嫁○○○○○」



「正直で忖度なしの○○○○○○○」

(クイズの解答は、p 19)

鯨城会ホームページ変更のお知らせ

2月から新ホームページの試験運用が開始され（4月から本格運用）

現在のホームページは閉鎖されます！！

2月から掲示板は廃止

➡ 投稿は、新ホームページの[花水木鯨城会お知らせ]を利用

投稿方法

投稿原稿を下記の花水木鯨城会ホームページ担当者にメールにて送信してください。

(原稿の作成ルールは別途お知らせします。)

花水木鯨城会ホームページ担当者が、PDF化して鯨城会ホームページ担当者に送信し、毎月第1月曜日、第3月曜日にまとめて更新されます。

閲覧方法

新ホームページのナビメニューの[花水木鯨城会]から、<お知らせ>に入り閲覧してください。

担当窓口

花水木鯨城会ホームページ担当

筒井孝志 080-3851-7533 hana.kouhou1950@gmail.com

新春講演会

行事委員会

新年1月10日、「名古屋城よもやま話」と題して、千種区社会福祉協議会1階研修室にて新春講演会が行われました。講師は名古屋城総合事務所 管理活用課長 山本道子様。



昨年完成公開された“本丸御殿”の完成までの経緯、それぞれの広間の壁画・天井・装飾の違い、特徴を分かり易く、説明をしていただきました。参加者約30名は、既に見学済みの様ではありましたが、詳しく視点を解説され、改め

てじっくりと見学したくなったのではないかと思います。

2022年12月には天守閣の木造復元完成とのこと。その時のピカピカの天守閣と豪華絢爛な本丸御殿が並んだ光景は、わが国でも屈指の光景です。普段あまり城に関心が薄い方でも血沸く思いになる事は必ずです。その日を楽しみにしたいと思います。



表紙の言葉



タイトル:「白銀に輝く立山連峰」 渡邊 泰興 (25期 国際)

晴天に恵まれた旅行の途中に立ち寄った富山の新港大橋と白銀に輝く雄大な立山連峰です。自然美と人工美の素晴らしさが撮影の狙いです。

お知らせ

■ 訃報

振甫地域会 山田 和男 様 (12期 健康) 平成30年11月ご逝去
謹んでご冥福をお祈り申し上げます

■ 次号「花水木だより 84号」の発行予定

封入配布日: 2019年4月26日(金)

発行日: 2019年5月7日(火)



編集後記

本号では冒頭に、この一年花水木鯨城会の運営に中心となって各々の役割を果たされてきました役員の皆様のプロフィールを紹介しました。そして特集記事として、10月下旬に開催されました趣味の作品展は、作品の見事さとともに12階の空中庭園が明るいギャラリーを演出したことが印象的でした。次回以降も会員の皆様の個性あふれる作品で一層の充実が図られますようお願いしています。

花水木だよりは、今後とも会員の皆様の活動の様のみならずその成果や生き生きとした表情を大切に編集してまいりますので、引き続きご支援をお願いします。



広報委員会

委員長 大村 悦郎(30期生活A) 委員 山田 修(31期美術)

委員 福田由美子(28期福祉) 委員 樫澤 一也(31期生活B)

委員 筒井 孝志(30期地域A)



P17 クイズの解答

第1問:「俺ん家も 長期政権 嫁 いっきょう(一強)」

第2問:「正直で 付度なしの たいじゅうけい」です。正解できましたか?

2019年度の行事予定

総務委員会

■ 総会と32期生歓迎懇親会

日時：4月10日(水曜日) 10:30より

場所：ルブラ王山(千種区覚王山通り8-18)

懇親会費：男性4,800円 女性4,300円(年会費別途)

申し込み：3月15日(金曜日)までにお申し込みください。

※お振込等、詳細は案内チラシをご参照ください。



行事委員会

■ バス旅行

5月17日(金曜日)



■ 花水木・地域会交歓ボウリング大会

7月9日(火曜日) 10:00より

本山ボウル(地下鉄本山駅 最寄り)



■ 第16回趣味の作品展

11月6日(水曜日)～10日(日曜日) 予定

芸術の秋

■ 新春講演会

1月15日(水曜日)

千種区社会福祉協議会



花水木だより 第83号

発行 花水木鯉城会

発行日 平成31年2月5日

発行人 会長 松川正信

編集人 広報委員長 大村悦郎 (Tel. 723-1006)

名古屋市高年大学 鯉城学園